

はっこいにささぐ
初恋に捧ぐ



hatsukoi ni sasagu

時間の都合で前半部分を抜いちゃったので状況がよくわからない話になってしまいましたが一応佳主馬君が大学生になって健二君とルームシェアしている感じです、モブの人は前に出した本の先輩です…。今回はできてる二人なのでいつもより仲良しのつもりで描きましたがこれは仲良しなのか…報われない佳主馬君が好きなので情けない感じになってしまいます。イケメンなのに…。おかしな二人ですが久しぶりに二人のやりとりが描けて楽しかったです、少しでも楽しんで頂けたら嬉しいです。





あ



髪
伸びたね

か



…何?



うん
平気

う



うん
もう切る
…辛い?





ねえねえ



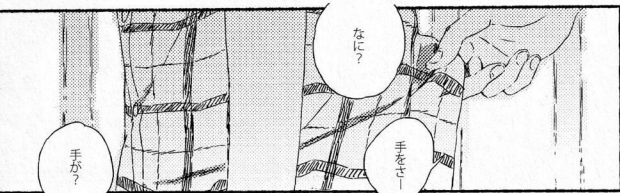
今から行く？

！

うん！



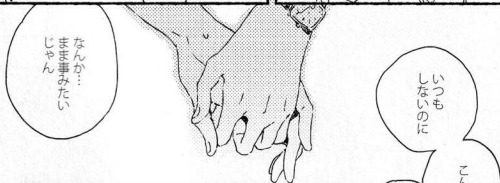
手



なに？

手が？

手をさー











もうお店
終わりがな



うん
行こうか



佐久間はねー
友達って感じ
じゃないの

あ…



豆は？
買ったの

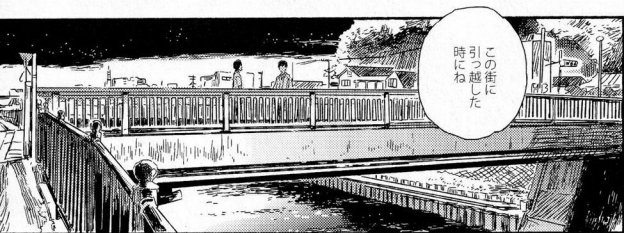
また
今買ってくる



小磯？









駅で偶然
会つてさ...



うん



なんか...
拗ねてる?



知らない話とか
してた



えっ本当?
なんで?



ごめんね











誤魔化して
なんかないよ



好きなんて



何度か
言っただけ



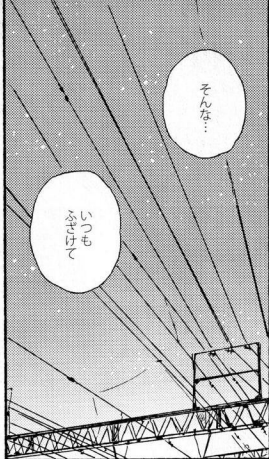
嘘は
言わないよ



僕は意地が
悪いけど



君が不安なのは
僕を信じられ
ないからでしょ









傷ついた
みたいな顔
しないでよ



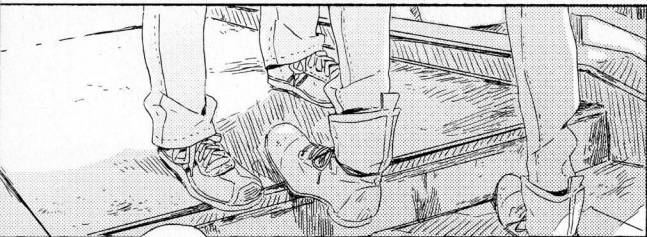
そんな
つまらない事で



僕はそんなの
全然嬉しくない



…何なんだよ









ありがとね



うれしいな

……何それ



狡いだろ
何だまそれ
腹立つ

んー？

最低だよ

むかつく
超むかつく

えー
そうなの？



佳主馬君
ほら

見なよ



もー
ひどいなあ

あ！

今日
星が見える

どっちが
だよ



ねえ…

うるさい



今そんなの
どうでもいい



そっだね

初恋に捧ぐ

はつこいにささぐ

二十三年一月十七日

hatukoi
ni sasa
gu